

【同窓会報告】

43 回生 同窓会報告

矢木 健治

平成 29 年 6 月 14 日(水)、15 日(木)の両日、京都嵐山「花のいえ」にて同窓会を開催しました。この「花のいえ」は、嵐山といえば「渡月橋」をすぐに連想しますが、その渡月橋のもとにあり庭園も素晴らしく京都らしい雰囲気を漂わせた宿泊施設でした。

今年は 43 回生の多くの同窓生が古稀を祝う年になることや、また卒後 50 年の節目の年ともなり、高知で開催して以来、久しぶりの同窓会となるので多くの参加者を期待していましたが、ちょっと少ない 14 名が参加してくれました。また、山田先生もご出席をお願いしていましたが、残念ながら都合が悪く欠席する旨連絡を頂きました。

宿に着くなり、それぞれが年相応の「あっちが痛いこっちが痛い」などの話で宴会がスタートする前から盛り上がるなか、とりあえず宴会前にゆっくりお風呂につかり日頃の疲れを取った後、予定より 30 分早く宴会の準備をして頂き、今回の幹事を代表して後藤氏の挨拶、物故者への黙とうに続き、神澤氏の乾杯の音頭で開宴した。宴もたけなわになりそれぞれ近況報告や学生時代の懐かしい話を披露し最後にレ専校校歌を朗々と歌い一次会をお開きとし、二次会を別室で持参してくれたアルコールを飲みながら深夜遅くまで雑談を交わした。その話の中で、次回は 2 年後小池氏が幹事を引き受けてくれ大阪で開催することを決め就寝する。

翌 15 日は、中川(善)氏の案内で大堰川の右岸にある千光寺まで散策をした。二日酔いも醒めない足元では、結構きつい場所にあるお寺であったが、比叡山、大文字をはじめ京都市街を一望する絶景であった。一泊二日という短い時間であったが、久しぶりに会う同窓会は改めて素晴らしい時間であった。2 年後にまた元気でお会いできることを楽しみに解散した。

出席者：井上泰治・神澤良明・小池弘一・後藤邦夫・坪倉栄蔵・中井武四・中川忠嗣・中川善夫・西村茂樹・
埜藤眞純・松谷 正・村上哲夫・村田 稔・矢木(大屋)健治



以上

* 通巻 225 号 2017 年 10 月 10 日発行 (H29-No.3)より